

# LGBT法 絶対阻止 女性と子供の危機

音もなく 忍び寄ってきている 報道されない LGBT法の危険がここに有る！

## 顕在化させた女性の反発 「LGBT法案」

### 女性エリアに男が侵入できる!?

#### 性犯罪が懸念されるLGBT法案

性的少数者(LGBTなど)理解増進法は、その運用において、防犯の観点から懸念の声が上がっています。すべての人が安全な生活を送るためにどうするのか重要で、政治家が意見を求めることの多いLGBT活動家は、性的少数者の代表ではなく性的少数者の総意ではありません。拙速な審議での法制化を許してはなりません。

**LGBT法案で子供の人格が破壊される可能性を懸念される!**

自公が提案する理解増進法案には、学校が環境整備を通じて理解増進に努めるとの条文があります。自我が形成される幼少期から思春期にかけて、同性愛教育をすると場合によっては性同一性障害や同性愛などに陥ってしまう危険があり、子供の人格形成と福祉に害を与えかねません。



**LGBT法案で、母性と父性の弱体化が懸念される!**

同性愛教育を受けた子供たちは極端な男女同型イデオロギーに洗脳される可能性が有ります。母性や父性も健全に育たなければ、残念ながら多くのカップルは健全な家族を築くことが不可能となりえます。「仕事も家事も平等に」という観念に縛られている夫婦は、対立関係に陥りやすく夫婦関係の疲弊も見受けられます。母性や父性の欠如から、自由が束縛される子育てを互いに押し付け合うことにもなりかねず、結果的に家族の絆はきわめて脆弱なものとな

り、離婚や虐待などの家族崩壊現象が増加する可能性は否定できず、

同性愛教育は、若者の「結婚離れ」を助長するばかりか、家族の絆を極端に

弱め「健全な家族」を日本の社会から消滅させてしまう可能性も考えられます。

**LGBT法案は「結婚離れ」「少子化」を助長し、日本社会崩壊につながる恐れも!**

幼少期からの同性愛教育は、「生物として子孫を残すために必要な行動に支障が出るおそれがある」「特に男子の場合、心理的に去勢されてしまい、男性の本能行動にとって必要な積極性を失ってしまう者が出てくる可能性がある」とされています。同性愛者がいることは自然と理解してきます。あえて同性愛を理解しようなどという教育は必要ありません。

